

近畿本部 情報工学部会 12月度例会の案内

- ◇日時：2023年12月9日（土）14時00分～17時00分
- ◇場所：〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
大阪市立生涯学習センター 第5研修室
現地 定員 20名 / Web中継 定員 100名（ハイブリッド形式）
※現地参加の方はその旨、メールにてご一報ください。
- ◇会費：日本技術士会会員・準会員、協賛団体会員（現地/Web:1000円）
未入会者（現地/Web：2,000円）、学生（無料）
※支払：月例会参加後、会計より振込先口座をご連絡します。
- ◇申込みWeb：<https://jyouhou.ipej-knk.jp/wp/>（申込期限 12/7 まで）
※Web申し込みができない場合はメール info@jyouhou.ipej-knk.jp でも可能

<プログラム>

（Zoom ミーティングルームには 13:55 以降、入室可能となります）

1. 諸連絡 14:00～14:10

2. 講演1 14:10～15:25

大川 哲男 氏（情報工学）

『大規模言語モデル（LLM）の活用』

（概要）近年、生成AIを代表する大規模言語モデル（LLM）は、AI技術において飛躍的な進歩をもたらしました。LLMは、膨大なデータセットを用いて訓練された先進的なAI技術であり、高度な自然言語理解と生成能力を有しています。

本講演では、LLMの歴史的背景とTransformer（機械学習モデル）を含む技術的要素について概説し、実際の使用例を基にした具体的な応用事例を紹介いたします。また、現在のLLMが直面している課題や限界に加えて、将来の展望についても考察します。



3. 講演2 15:35～16:50

松尾 和世司 氏 一般社団法人日本ITストラテジスト協会 関西支部長

『検証：大企業をDXする前にまず組織風土を何とかせなアカン説』

（概要）2018年にDXレポート初版で「崖」と称された2025年まで、あと1年と少しとなりました。コロナ禍もありツールの導入は進んだものの、部分最適やデジタイゼーションに留まる「残念なDX」事例を多く耳にします。何故か？その一因はハードウェアたる組織風土が未成熟であるからと考えます。

本講演では特に日本の大企業でDXを推進する際に課題となる組織風土について、ITストラテジスト・メーカー・組織開発専門家の見地より、事例を交えてお話しいたします。



※月例会 終了後に忘年会も実施します。

ご参加希望は、以下アドレスまでご連絡ください。

◇問合せ先メールアドレス：info@jyouhou.ipej-knk.jp

1月の月例会は 第2週の 12日(金) を予定しています。

